



学校だより

令和2年度4月号
令和2年 4月8日
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

かしこく 美しく たくましく

～今をしっかりと生きる～

校長 柳澤 登紀男

桜の花びらが舞い、正門から校庭に続くプランターには水やりボランティアの皆様の愛情を受けて育った鮮やかな春の草花が咲き誇り、本格的な春を迎えています。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応も続いています。毎日、状況が刻々と変化していく中、今、私たちがすべきことは、様々な情報の中から正しいものを得、デマや噂に惑わされることなく冷静に判断し行動すること、感染拡大防止の趣旨を十分に理解し、一日一日をしっかりと前向きに過ごすことだと考えます。また、このような時だからこそ、差別や偏見を許さず、他人への思いやりを忘れないようにしたい。事あるごとに生徒や先生方に伝えてきた、学校教育目標の「かしこく 美しく たくましく」という言葉ですが、今の事態において自分自身に言い聞かせる毎日となりました。同時に、これから大人になり、社会に出ていく生徒たちにとって「かしこく 美しく たくましく」は、さらに重みのある言葉となっていると受け止め、教育者としての使命をより一層強く感じています。

例年の新学期とは異なった形となっていますが、令和2年度が始まりました。19名の職員が転出等となり、新たに20名の職員を迎えました。さらに213名の希望に満ちた新入生を迎え、全校生徒数687名、1学年6学級、2学年7学級、3学年6学級の19学級に加え、特別支援学級が2学級の21学級編制でスタートしました。積み重ねられた歴史と伝統、多くの人の関わり、本校への思いを胸に、気持ちも新たに全教職員が一丸となり、生徒・保護者・地域の皆様が誇れる学校づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度も引き続き、学校教育目標を「かしこく 美しく たくましく」とし、「夢や希望が持てる」、「あいさつや返事ができる」、「真剣に聞き、考える」、「思いやりのある行動ができる」、「何事にも意欲的に取り組む」生徒の育成を目指します。教育目標の具現化に迫る学年・学級経営を軸に、「生徒・教職員・保護者が相互の心の通い合いを大切にしたい温かな人間関係の醸成及び生徒の自己肯定感の醸成」、「自他の人権を尊重し他者の痛みを共有できる心、いじめを許さない心、差別を許さない強い心の育成を目指す積極的な生徒指導や教育相談の推進」、「保護者、地域、関係小学校との連携・協力をもとにした学校教育の推進」、「基礎・基本の確実な定着と確かな学力の向上を目指す指導」、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善による、生徒の主体的・能動的な学習態度の育成」を学校経営の基本方針としました。

上記の基本方針を受け、本年度の重点・努力点として、「生徒の自己肯定感の醸成」、「生徒指導や教育相談における適切な組織的対応及び関係諸機関との連携」、「ICTの積極的活用を通じた生徒の学習意欲の喚起と基礎・基本の徹底、主体的・対話的で深い学びの充実」を掲げ、取り組んでまいります。そして、生徒一人ひとりが大谷口中生としてのプライドをもって成長、活躍する学校づくりを目指します。

保護者や地域の皆様には、いろいろな機会に学校へ足を運んでいただき、教育活動や生徒の学ぶ姿、成長ぶりを見ていただき、忌憚ないご意見を賜りますとともに、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について

ご家庭での、お子様の健康観察・検温の徹底、手洗い・うがいの励行、マスク着用および咳エチケットについてのご指導に心より感謝申し上げます。引き続きご理解・ご協力をお願い申し上げます。また、感染拡大防止対応に伴う授業措置や行事計画等の変更につきましては、学校からの通知に加え、本校ホームページ <http://oyaguchi-j.saitama-city.ed.jp> や学校安心メール等でもお知らせいたしますのでご確認ください。

